

目 次

1. 第 3 回（平成 20 年度）総会のご案内
2. ひろしま国際センターから広大マスターズへの協力相談
3. 出前講座メニューに今年度も 12 講座のメニュー
4. 今年も市民講座を開催します
5. 広島大学マスターズ活用ガイドが発刊されました
6. <会員紀行文> モスクワの大規模都市開発「メトロポリア」計画に参画して（菅川健二）

1. 第 3 回（平成 20 年度）総会のご案内

新緑のまぶしい季節となりました。3 月以来、好天に恵まれ、今年の桜花は見事でありました。そのあと、広大の中央図書館前のチューリップ花壇も赤白黄色と咲き誇り、サタケスクエア一帯がはなやかな色彩世界となりました。会員諸兄姉もあちらこちらの花の名所で、ご家族や友人たちと風景を満喫されておられると存じます。

さて、第 3 回（平成 20 年度）総会を、新しい会員を迎えて、下記の通り開催いたします。多事多端の折と拝察しますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただくよう、切にお願いいたします。

記

1. 名称：広島大学マスターズ第 3 回総会
2. 日時：平成 20 年 5 月 31 日（土）14：00～16：00
3. 場所：広島大学西条サテライトオフィス（コラボスクエア東広島内）会議室
サンスクエア東広島（会場案内図参照）3F
4. 次第：開会の辞
 - ・ 代表幹事挨拶
 - ・ 顧問来賓挨拶
 - ・ 会務報告 活動報告 / 会計報告
 - ・ 会則の改正
 - ・ 事業計画
 - ・ 会員の近況報告とマスターズへの期待
 - ・ 話題披露
 - ・ その他閉会の辞
5. 会費：1000 円（実費、茶菓代として）

1. 現在未加入の方であっても、会場で入会受付をいたしますので、遠慮なくご出席ください。またご友人に未加入の方がいらっしゃれば、ぜひお誘いください。
2. 当日の配布資料等、会場の準備の都合上、下記問い合わせ先に出欠のご一報をください。や

むをえずご欠席の場合も、ファックスや書信でぜひ近況報告を届けてください。会場で、ご披露いたします。

3. 当日、配布ご希望の資料があれば、事務局にその旨、ぜひご連絡ください。

問い合わせ先：

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F

広島大学西条サテライトオフィス内

広島大学マスタース事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

(事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。)

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

会場案内図：



2. ひろしま国際センターから広大マスタースへの協力相談

平成 19 年末、ひろしま国際センター（JICA 中国と広島県との合同組織）より広大マスタースに対し広島県の特徴を生かした国際的な研修事業の立ち上げについて相談を受けました。マスタース構成員の持てる専門性の再利用と理解し、協力をお引き受けしました。

世界的なカキ生産地の広島から世界に情報を発信しては、との JICA からの示唆もあり、自分の水産増殖分野の知識と過去に行った JICA 集団研修の経験を生かし研修案の作成を開始しました。中米を対象とした技術研修の原案作成に先立ち、これまで類似の案件に従事した専門家や評価委員からは面談と電話、中米のカキ研究者からは電子メール、またホームページから情報収集を行いました。「カキ養殖」に関する研修私案を元にこれまで数度 JICA 中国の担当者と協議を進めてきました。

研修案の作成にあたって最大の難点は得られた情報間で大きな相違があることです。生き物がらみの国際的な技術協力で共通して言えることは、ハイテク機器を駆使した短期間の技術移転が望まれがちです。日本では当たり前となっている産業も数十年、カキ養殖では数百年の経験、知識の蓄積と失敗があるだけに基礎を素通りした技術移転計画は「蛇口さえ手に入れば水道水が出る」との例えと同じです。研修対象国の現状を実際に見ていないだけに研修内容が机上の空論にならないとも限りません。真に技術移転につながるような研修案ができれば幸いです。

(文責 中川平介)

19 年度、4 度の三者協議会（学習会）が開かれ、環境、教育問題についても、いくつかの提案があった中で、「かき養殖」はいちばん具体化されたのですが、JICA や国際関係の事情もあり、今回は不発に終わりました。すべてが陽の目を見るわけではありません。これからも可能性を探る努力をしてゆかなければなりません。よい経験でした。(事務局注)

3 . 出前講座メニューに今年度も 12 講座のメニュー

東広島市は生涯学習日本一を目指し、東広島市生涯学習推進本部をおこし、東広島市生涯大学システム運営協議会（現在、東広島市各種行政機関、広島大学など東広島市内 5 大学、商工会議所、JICA、テクノプラザなど 21 機関で構成）のもとで、多方面で、重層的な活動を企画実施してきました。わがマスターズも、設立後すぐに 21 番目の団体として同協議会に加盟し、積極的な活動をすすめてきました。平成 19 年度は東広島市予算に活動費が計上されました。

同事業の活動の一つに、「東広島市生涯学習まちづくり出前講座」に参加することがあります。出前講座は東広島市民が対象で、要望のある団体、グループのところに出向いて講義するものです。まず広報誌等で出前のメニュー一覧が提示され、希望者があると、講座が成立します。今年度は出前講座の総メニューは全部で 97 品目、そのうち上記協議会提供メニューは 40 品目で、さらにその中でわがマスターズは以下の 12 メニューを提供しています。

「古黒瀬川 - 幻の西条湖」 / 「世界の美術紀行」 / 「30 年後の地球環境と私たち」 / 「水産物最近の話題」 / 「東南アジアの家畜文化と民族」 / 「親と子の健康づくり教室」 / 「美術と生活」 / 「GHQ サムス准将の改革：戦後日本の医療福祉政策の原点」 / 「食中毒あれこれ」 / 「竹トンボ教室」 / 「どんぐり教室」 / 「広島魚」。

お知り合いの方に、このような講座を聴講したいという方がいたら、ぜひ紹介してあげてください。因みに出前講座は基本的に無料（謝金はなし、講座によっては、資料等の実費を申し受けることがあります。）

出前講座等について、もっと詳しい情報をお求めの方は、「平成 20 年度前期（4 月～9 月）学習メニューブック～市全体を、学びのキャンパスに～」(東広島市生涯学習推進本部、東広島市生涯学習大学システム運営協議会編)をご覧ください。同パンフレットは、市役所、支所、公民館等に置いています。



4 . 今年も市民講座を開催します

昨年秋、マスターズは独自企画として、「熟年世代の健康と食べ物」、「広島魚文化」を実施し、好評でした。今年度は夏と秋の両期にわたって、以下の 4 コースを開催します。

「初めてのフランス語」(計 8 回、基本的に 7、8 月と 10、11 月に隔週開講。原野昇会員) /

「バロックの美術と音楽」(計4回、基本的に10、11月。金田晋会員、原田宏司会員) / 「先端技術と工学」(計4回、基本的に7、8月。高田忠彦会員、松井亨景会員、橋本律夫氏、三枝省三氏(以上現職、広大産学連携センター所属) / 「環境と野外教育」(計4回、基本的に10、11月。安藤忠男会員、沖村雄二会員、西村清巳会員、宗岡洋二郎会員)

詳しくは、本通信次号(第12号)に紹介します。また「平成20年度前期(4月~9月)学習メニューブック - 市全体を、学びのキャンパスに~」(東広島市生涯学習推進本部、東広島市生涯学習大学システム運営協議会編)にも、関連記事が出ています。

5. 広島大学マスターズ活用ガイドが発刊されました

わがマスターズが設立されて、既に1年半近くになりました。国立大学が国立大学法人に移行して以来、大学の活動の担い手にOB教職員の力も借りるべきだとの提言が全国規模でなされるようになりましたが、私たちは先行的に、そのような活動をはじめてきました。広島大学の所在地にある組織として、広島大学からも東広島市からも大きな期待をよせられています。おそらく全国初の活動体であると、自負しています。

昨年秋の東広島市生涯学習フェスタでも、ブースを出し、多くの市民に立ち寄ってもらいました。ただ、市民の間では、まだ「広島大学マスターズ」の存在が十分知られているわけがありません。しかもどのような会員が加わり、どのような分野をカバーしているかについては、ほとんど知られていないと言って、過言ではありません。

このたび、東広島市教育委員会とマスターズ事務局が共同で「活用ガイド」を発行することになりました。先に会員諸兄姉には、活用ガイド用の自己紹介の原稿をお願いしたところですが、そのご協力を得て、このたび42頁からなる美しい冊子ができあがりしました。原稿ご提出が間に合わなかった会員の方については、マスターズ入会時にお書きいただいた「入会申込書」中、「公表可」とされた部分を掲載させていただきました。また、お身体の調子やお仕事などの事情により、掲載を希望されなかった方については、本冊子への掲載を控えさせていただきました。

市役所、各支所、公民館、学校等に送りました。ご活用ください。



モスクワの大規模都市開発「メトロポーリア」計画に参画して

菅川健二

ロシアといえば、われわれの世代の多くは、シベリア抑留、北方領土問題、暗殺とマフィア、物資不足でがらんとしたスーパー等々暗く閉ざされた北の大陸を思い起こすに違いない。その上、私は、大連に生まれ幼少時代を過ごしたものとして、終戦間近かに侵攻してきたソ連兵の粗暴な振る舞いを決して忘れることができない。

ところが、ここ 1 年の間に期間は短い、3 回にわたりモスクワ、サンクトペテルブルグ等を訪問し、ロシア人と交流を深めるにしたがって、ロシア大好き爺さんとなったのである。

私がロシアとのご縁が始まったのは、4 年前にさかのぼる。ロシアで証券投資事業を営む青年実業家 S 氏がロシア極真空手道連盟の会長となり、日本に訪れた。その際、東京にも事務所を設け、ロシアと日本の経済交流を促進したいとの意向を聞き、私もそれに共鳴し、お手伝いすることとなったのである。彼は、大の日本びいきで空手等のスポーツはもとより、日本の歴史や伝統文化、そして何よりも刺身、寿司、しゃぶしゃぶ、ラーメン等日本の食べ物が大好きである（多くのロシア人もそうであるが）。ビジネスの分野においても、誠実な日本人を信頼しており、日本の優れた技術の導入と経営管理の手法を取り入れたいと念願している。

幸い、ロシアはプーチン政権になって政治は安定し、石油資源等の高騰もあって経済は急速に成長し、国民の消費生活も豊かになり、日本の経済界の関心も急速に高まってきている。この 5 月にメドベージェフ政権が誕生するが、政治経済情勢は変わらないとみられている。

これらを背景にして、S 氏の本業の証券業については、1 昨年、日本の証券会社とタイアップしてルーブルファンドの組成と販売を行い、この 2 月から日本でのロシア株のインターネットトレードを開始した。

更に、このたびモスクワの都心に 23ha（東京の六本木ヒルズと東京ミッドタウンを合わせた面積）に人口 8 万人のオフィス、ホテル、商業、レジャー、住宅の複合拠点都市「メトロポーリア」を建設することとなった。については、この整備も、ぜひ日本の建築技術を導入したいとの意向があり、私が日本での最高の設計技術を持つ（株）日建設計にマスタープランを策定することを推薦したところ、昨年末に双方が合意し、この 3 月にはその成果物をフランスのカンヌで開催された M I P I M（国際不動産見本市）に出展したところである。私もカンヌに同行したが、この見本市は、日本を含む 88 カ国から約 9 千社が出展するという大規模なもので、その中でも斬新なプランとして好評を得たところである。なにぶん総事業費 4000 億円に上る大事業であり、今後、多くの困難な課題が予想されるが、順調に進捗すれば、5 年後には完成の予定であり、日露合作によるランドマークタワーが聳えることを期待している。

会員の皆さんも、ぜひ変貌を遂げつつあるモスクワを一見されることをお勧めする。2 - 3 年後には「メトロポーリア」のホテルにぜひご案内したいと思う。



投稿募集

本「通信」は、本会の設立趣旨に沿って、当初から会員相互の情報交流の場にしたいと願ってきました。既に第7号において沖村雄二会員の調査報告「ホボロ島が生物浸食作用で消えて行く」を会員の活動報告として掲載し、本号では菅川健二会員の紀行文「モスクワの大規模都市開発「メトロポーリア」計画に参画して」を掲載いたしました。会員の皆さまの近況、活動状況などをぜひお寄せください。また最近お読みになって感心した図書、あるいは感動した映画など、の批評、感想なども歓迎いたします。紙面に余裕があるかぎり、掲載して行きたいと考えています。

広大マスターズへのお問合せ等は、下記宛にしてください。

事務局:739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島3F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

(事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。)

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>